

さいたま市の学校教育

「社会を生き抜く力をはぐくみ、多様な個性が活かされる教育の推進」

- 学校教育の指針
- 1 確かな学力をはぐくみ、個性を生かす教育の推進
  - 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進
  - 3 豊かなかかわり合いを大切にする教育の推進
  - 4 地域に根ざした信頼される学校づくりの推進

さいたま市学校教育ビジョン 《ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども》

「子どもたちの未来のための PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」

- Grit やり抜く力で真の学力を育成する
- Growth 一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成する
- Global 国際社会で活躍できる人材を育成する

1 学校経営方針

(1) 学校教育目標

|                           |   |               |
|---------------------------|---|---------------|
| 健康で<br>自立心にあふれ<br>創造性に富んだ | } | 人間性豊かな児童を育成する |
|---------------------------|---|---------------|

(2) 目指す児童像

「明日をみつめ、今日一日を生き生きと生活する子」

- ・かしこい子 (知) 自ら考え、進んで学習する表現力豊かな子
- ・やさしい子 (情) 思いやりをもって、助け合う、感性豊かな子
- ・がんばる子 (意) 責任をもち、最後までやりぬく子
- ・げんきな子 (体) 運動を好み、明るく健康な子

(3) 経営方針

社会を生き抜く力をはぐくみ、多様な個性が活かされる教育を推進するために「さいたま市学校教育ビジョン」の下、学校教育目標の実現に向け、教職員が「カリキュラム・マネジメント」を理解し、教職員の総力を結集し創意工夫を生かし、特色ある教育活動に取り組む。その際、小学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体、豊かなかかわり合いをはぐくむとともに、児童が生き生きと学校生活を送れるよう「安全・安心」な環境整備に配慮し、特色ある教育活動に取り組む。また、学校経営を進める上で、PDCA サイクルを踏まえ、地域に根ざした、信頼される学校づくりをする。

- ① 児童一人ひとりのよさや特性を生かし「生き抜く力」をはぐくむ。(教育指導)
- ② 豊かな心と健やかな体、豊かなかかわり合いをはぐくむ、安全で美しい教育環境の整備に努め、特色ある教育活動に取り組む。(教育環境)
- ③ 家庭及び地域社会との連携に努め、共育を充実させる。(教育の連携)

## 2 学校教育プラン（本年度の努力項目）

社会の変化に主体的に対応できる資質・能力（生きる力）の基礎を育成する。学習指導要領の趣旨をより生かすために児童像「明日をみつめ、今日一日を生き生きと生活する子」（かしこい子・やさしい子・がんばる子・げんきな子）を目標に設定し教育活動に取り組むとともに、全教職員の協働により全教育活動を展開する。

- (1) 学習指導の研究を深め、児童が生き生きと楽しく意欲的に学ぶ授業の展開に努める。
  - ① 学習意欲・関心・態度を高める指導方法・指導体制を工夫する。
  - ② 「よい授業」の4つの因子に基づき、基礎的・基本的な内容をおさえ、きめ細かで質の高い授業を推進し、基礎学力の定着を図る。  
・授業マネジメント ・基礎アップ ・授業スキル ・アクティブ・ラーニング
  - ③ 児童一人ひとりを生かすよう学習状況や成果を継続的、総合的に把握し、指導と評価の一体化を図る。
  - ④ 内谷中学校との連携を密にし、小・中一貫教育に基づいた教科・領域等の指導法の工夫改善を図る。
  - ⑤ さいたま市小・中学校学習指導要領移行措置要領等に基づき、移行期間に指導すべき内容を確実に指導する。
  
- (2) 自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育を推進する。
  - ① 道徳教育の指導体制の構築と具体的な指導に生きて働く全体計画を作成し、道徳教育を一層充実させる。
  - ② 生きる上で基盤となる道徳的価値観の形成を図る指導を徹底するとともに、自立心や自律性、生命を尊重する心、他者を思いやる心の育成を図る。
  - ③ 児童・保護者・地域社会等の実態や課題に応じ、各学年段階の指導内容について重点化を図るとともに、学校の道徳教育の全体計画や道徳教育に関する諸活動などの情報を積極的に発信する。
  
- (3) 基本的生活習慣の確立を図り、好ましい人間関係を培う生徒指導に努める。
  - ① 元気にあいさつを交わし、相手への優しさを込めた言葉遣いをする学校生活を体験させ、信頼関係を基盤にした生徒指導を充実し、健全な行動様式を育成する。
  - ② 「心と生活のアンケート」等の確実な実施と「学校いじめ防止基本方針」に沿った未然防止、早期発見・早期対応の取組を充実させる。
  - ③ 一人ひとりの人権を尊重する指導を徹底する。（体罰・暴言調査等、沼影小学校いじめ防止基本方針）
  - ④ 不登校傾向の児童へ寄り添った指導に努め、不登校にならないための未然防止・早期対応の徹底を図る。
  - ⑤ 児童の立場を踏まえた的確な児童理解を行い、適切な人間関係づくりを構築する。児童の話に共感的に耳を傾け、きめ細かな対応をするとともに、あらゆる教育活動の中で、SOSを出すことができる態度を育成する。
  
- (4) 心身ともにたくましく、人間関係調整能力のある健康な児童の育成に努める。
  - ① 進んで体力づくりに努める体育的教育活動を工夫実践するとともに、全教育活動を通して体力の向上に努める。

- ② 潤いの時間（人間関係プログラム）・体育指導・保健学習・保健指導・給食指導・安全指導・読書指導を着実に実践する。
  - ③ 自主的活動を重視した児童活動を推進する。  
（ボランティア清掃・ペットボトルリサイクル・ベルマーク収集・あいさつ運動・いじめ防止運動等）
- (5) 教育環境の整備に努め、豊かな人間性を育てる。
- ① ICT教育に関連する施設設備や教材教具を効果的に活用し、情報化時代の対応に努める。（学校評価）
  - ② 緑化活動の充実と校舎内外の整備・安全確保に努める。
  - ③ 理数教育・環境教育・福祉教育の充実と勤労生産的・奉仕的な体験活動を重視する。
  - ④ 読書活動の充実・活性化を進める。
- (6) 家庭及び地域社会との連携を一層強化する。
- ① 学校評価の分析を的確に実施し、それに基づいた組織的、計画的な学校改善を行う。
  - ② 児童の健全育成のための地域との交流教育活動を充実する。  
（チャレンジスクール、保育園・幼稚園交流、自治会、育成会、少年団等）
  - ③ 地域を愛し、郷土とともに生きる心情の高揚に努める。
  - ④ 「あいさつ運動」を内谷中学校・家庭・地域等と連携して取り組み、あいさつが響き合う明るい町づくりをめざす。
- (7) 仕事を通して学び、児童や保護者、地域から信頼される教職員、学校を目指す。
- ① 「教職員一人ひとりが子どもにとっての教育環境」を自覚する。「優しく、真摯に、誠実に、厳しく」
  - ② 教職員間の「報告・連絡・相談・対応・確認」を徹底し、組織的な対応をする。
  - ③ 研修に積極的に取り組み、指導力向上を図り、常に授業改善に努める。
- (8) 障害のある児童の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、児童一人ひとりのニーズに応じた指導の充実を図る。
- ① 児童一人ひとりの障害の特性や状況等に応じて適切な課題を設定し、個に応じた指導の充実を努める。
  - ② 特別支援教育に関する校内委員会を活用し、校内支援体制の確立を図り、障害のある児童一人ひとりのよさやもてる力を十分に発揮し生活できるよう指導及び教育環境の整備・充実を努める。
  - ③ 児童の発達段階、地域の実態、障害のある児童の状況等を十分に考慮し、交流及び共同学習により互いに成果が期待できるよう努める。